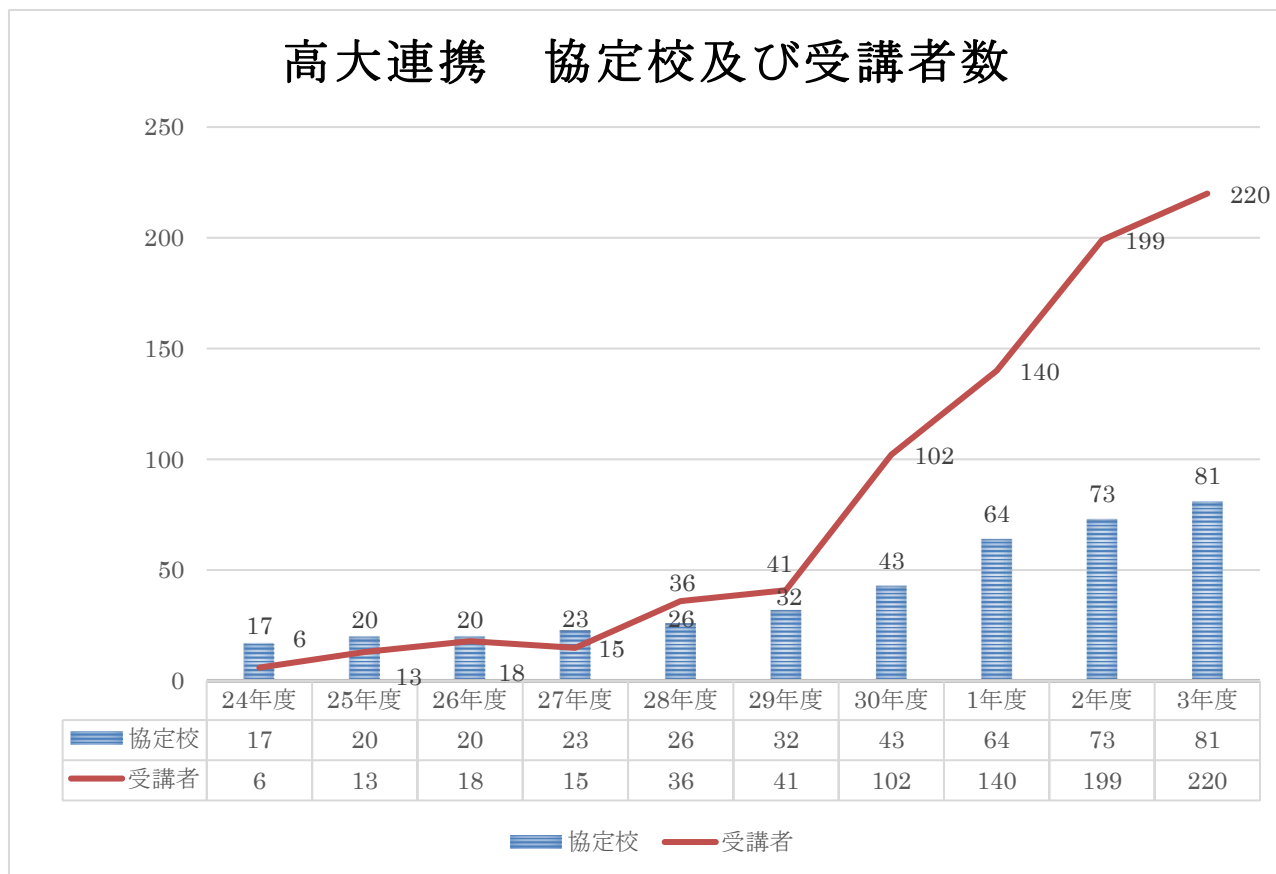


高大連携講座

参加者意識及び受験動向調査について
(経年比較 2019年度～2021年度)

高大連携 協定校及び受講者数



群馬医療福祉大学・短期大学部は、「地域に開かれた大学」を目指した取り組みの一つとして、地域の高等学校との連携を進めています。

高校生が、本学の実施する高大連携授業科目を履修することにより、医療・福祉等に関する内容を理解することができ進路の選択に役立つこと、高等学校生活の充実及び学習意欲の一層の向上に寄与することを目的として実施しています。

なお、高大連携授業により習得した単位は、入学した場合に本学の全学部で修得した単位として認定をしております。

授業の内容は、「医療福祉教育の基礎」をテーマとし、社会福祉、教育（幼小中高特別支援）、医療、リハビリ、介護等の分野の基本的なことがらを関連づけて学びこれらの理解を深めるものとなっています。

地域の高等学校と大学が連携することにより、大学での講義や実習が受講可能となることから、高校生の学習機会を拡大し、さらには高等学校における多様な教育課程の編成にもつながり、高等学校の教育活動充実に資することもできると考えています。

高等学校との連携と支援の充実を目指し、教育研究面で一層の地域貢献、高大連携ができるように努めてまいります。

※平成24年度から協定校17校、受講者6名 科目「ソーシャルワーク入門」として社会福祉学部及び短期大学部にて連携講座がスタートしました。28年度より科目を「医療福祉教育の基礎」に変更し看護学部、リハビリテーション学部でも受講が可能となりました。平成30年度より高大接続改革による学力の3要素を測る入試の取組みとして高大連携型AO入試を設定、令和3年度より医療技術学部の開設に伴い臨床検査学専攻、臨床工学専攻の講義が追加となりました。

高大連携授業 アンケート調査報告書 2019年度～2021年度比較

群馬医療福祉大学 IR室

2019年度

〈実施日時〉 令和元年（2019年）8月5日（月）～8月8日（木）
〈会場〉 群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/5、8/8 前橋、8/6 藤岡、8/7 本町）

2020年度

〈実施日時〉 令和2年（2020年）8月5日（水）～8月21日（金）
コロナウィルス感染防止のため YOUTUBE による映像配信にて実施

2021年度

〈実施日時〉 令和3年（2021年）8月2日（月）～8月5日（木）
群馬医療福祉大学 3キャンパス（8/2、8/5 前橋、8/3 藤岡、8/4 本町）
コロナウィルス感染防止のため YOUTUBE による映像配信も同時に実施

1 参加者について

（1）参加者総数 ※アンケート回収数ではなく、参加者総数（一部欠席の者もカウント）

	高校生	在学生	合計
2019年度	140	28	168
2020年度	199	3	202
2021年度	220	10	230
前年度比	+21	+7	+28

《分析》

① 高校生参加者が3年間で約1.57倍に大幅増加

- 参加者は年々増加傾向。2018年度から導入された「総合型選抜高大連携型(旧AO)入試」の導入が大きな要因とみられる。さらに高大連携型入試の合格状況も参加者増加を加速。コロナの影響もあり2020年度からは例年までのように5日連続で大学へ足を運び講座に参加しなくても YOUTUBE による映像配信講座により受講できるため、県外の高校生が受講しやすくなったことも一因と考えられる。
- 2020年度参加者の希望別内訳は社会福祉専攻 15% 子ども専攻 6% 看護学部 39% 理学療法専攻 21% 作業療法専攻 8% 医療福祉学科 7% その他 4%となっている。
- 2021年度 参加者の希望別内訳は社会福祉専攻 13% 子ども専攻 4% 看護学部 30% 理学療法専攻 21% 作業療法専攻 11% 臨床検査学専攻 10% 臨床工学専攻 6% 医療福祉学科 3%となっている。

2 アンケートについて

(1) アンケート概要

1) アンケート回収数

	高校生	回答者数	回収率
2019 年度	140	140	100%
2020 年度	199	88	44%
2021 年度	220	205	94%

※2020 年度のアンケート回収は WEB 上での回答のため回収率が低下

全 8 問で構成 ※アンケート用紙は、付録 1 を参照

《質問のねらい》

- Q 1 参加動機（複数回答）
- Q 2、3 運営・進行面
- Q 4、5 授業自体の理解・満足度
- Q 6、7 参加の満足度・入学希望の度合い
- Q 8 参加の満足度が高い授業の選択（上位 3 つまで）
- Q 9 YOUTUBE 配信に関する満足度

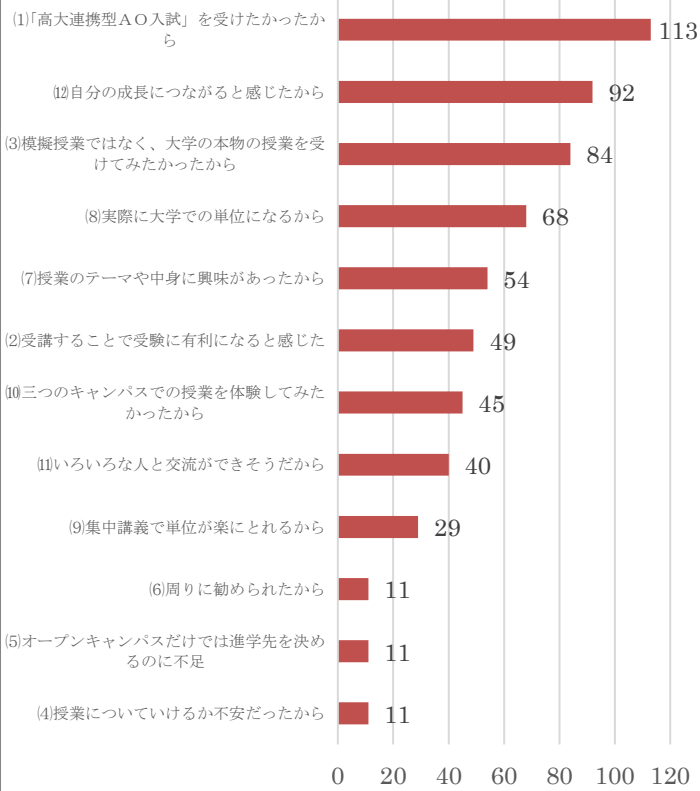
2) アンケート項目別分析

Q. 1 本学の高大連携授業に参加しようと思ったきっかけについて、当てはまるものの記号に○をつけてください

(複数回答可)

参加動機理由	2019 年度 選択率（高校生 140 名 の選択率）	2020 年度 選択率（高校生 88 名の選択率）	2021 年度 選択率（高校生 199 名の選択率）
(1)「総合型選抜高大連携型」を受けたかったから	80.7%	55.7%	66.3%
(2)受講することで受験に有利になると感じたから	35.0%	47.7%	45.2%
(3)模擬授業ではなく、大学の本物の授業を付けてみたかったから	60.0%	61.4%	75.4%
(4)授業についていけないか不安だったから	7.9%	13.6%	14.1%
(5)オープンキャンパスだけでは進学先を決めるのに不足していると感じたから	7.9%	13.6%	15.1%
(6)周りに勧められたから	7.9%	14.8%	9.5%
(7)授業のテーマや中身に興味があったから	38.6%	56.8%	51.8%
(8)実際に大学での単位になるから	48.6%	45.5%	33.7%
(9)集中講義で単位が楽にとれるから	20.7%	2.3%	2.0%
(10)三つのキャンパスでの授業を体験してみたかったから	32.1%	8.0%	-
(11)いろいろな人と交流ができそうだから	28.6%	21.6%	-
(12)自分の成長につながると感じたから	65.7%	64.8%	65.3%

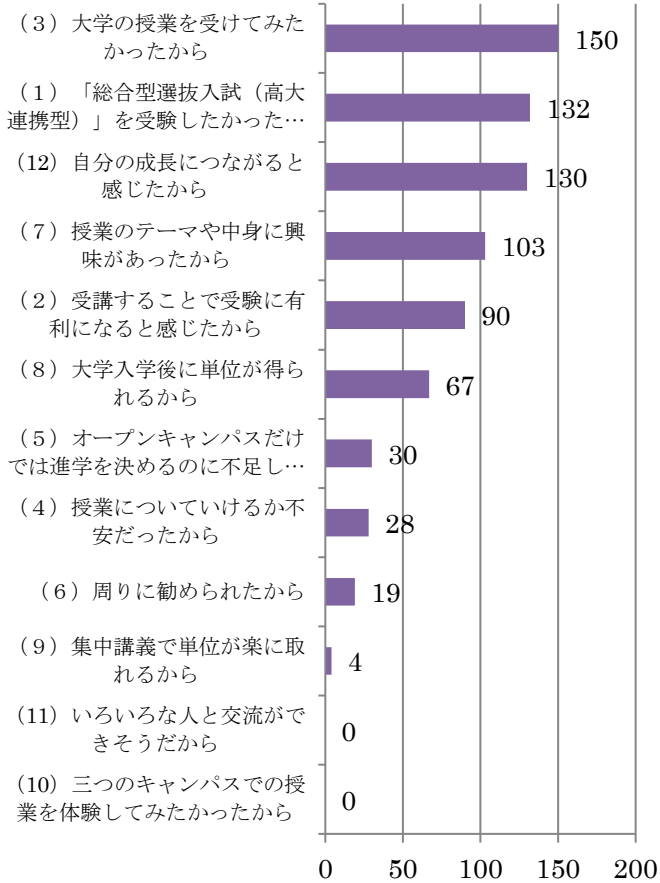
2019年度 高大連携授業 参加理由



2020年度 高大連携授業 参加理由



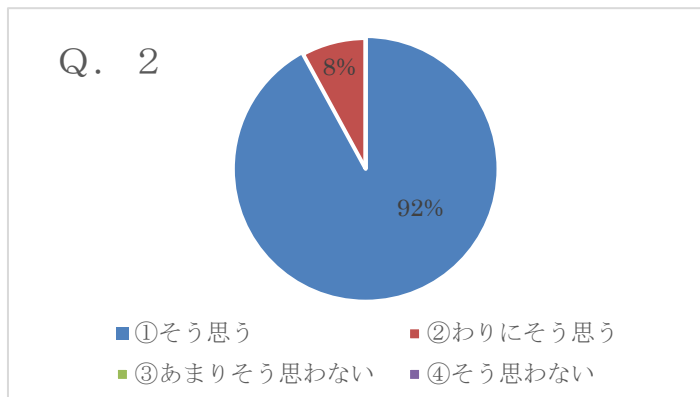
2021年度 高大連携授業 参加理由



《分析》

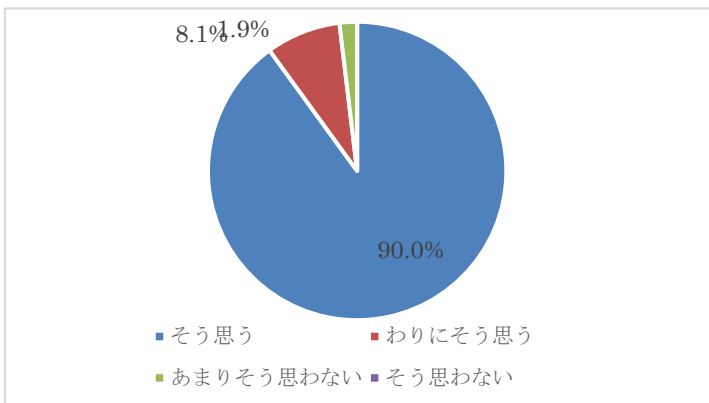
- ・2020年度は「総合型選抜高大連携型」の受験を前提とした参加が55.7%で2019年度比較すると減少したが、2021年度は66.3%まで上昇した。コロナ渦、大学入試改革の初年度、さらに本学の高大連携型選抜における基礎学力試験導入初年度と重なって高大連携型選抜の受験を敬遠した受講生がいたことが考えられる。
- ・2020年度では「授業のテーマや中身に興味があったから(51.8%)」「大学の本物の授業を受けてみたかった(75.4%)」と回答した受講生が2020年度に引き続きその割合が多く、オープンキャンパスで提供される模擬授業だけでなく、本講座を受講し、入学後に提供される授業内容を確認してから入学したいという意欲ある受験生が増えている。さらに自分の成長につながる(65.3%)という期待が、大きな参加理由となっている。

Q. 2 2020年度 感染リスク回避のため、YOUTUBEで授業を配信したことはよかったと思いますか。



※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	81	92%
③わりにそう思う	7	8%
②あまりそう思わない	0	0%
①そう思わない	0	0%
無回答	0	0%
合計	88	100.0%

2021年度 受講方法をA.B.C 3つの方法の選択制にしたことは適切だったと思いますか。



※高校生のみ	人数	割合
④そう思う	189	90%
③わりにそう思う	17	8.1%
②あまりそう思わない	4	1.9%
①そう思わない	0	0%
無回答	0	0%
合計	210	100.0%

《分析》

- ・2020年度はYOUTUBE配信のみであったが、参加者の92%が良かったと思う、8%がわりに良かったと思うと回答しており、十分な満足が得られている。2021年度は1. 全て対面、2. YOUTUBE配信、3. 対面とYOUTUBE配信の選択の3つのパターンを用意した。選択制にしたことは適切であったかの問いに参加者の90%がそう思う、8.1%がわりにそう思うと回答しておりこちらも十分な満足が得られている。

Q. 4 全体的に、授業はわかりやすかったですか。

	2019年度		2020年度		2021年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	109	77.9%	72	81.8%	157	78.9%
③わりにそう思う	29	20.7%	15	17.0%	42	21.1%
②あまりそう思わない	1	0.7%	1	1.1%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%
無回答	1	0.7%	-	-	-	-
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%

《分析》

・授業については、上記表のとおり受講者のほとんどがわかりやすかったと回答。この面では授業内容のレベルや教授法は適切だといえる。

Q. 5 全体的に、授業から知的な刺激を受けることができましたか

	2019年度		2020年度		2021年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	130	92.9%	86	97.7%	173	86.9%
③わりにそう思う	10	7.1%	2	2.3%	25	12.6%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%	1	0.5%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%
無回答	1	0.7%	-	-	-	-
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%

《分析》

①知的な刺激を受けることができましたかの問いに対し2021年度は過去2年と比較しはじめて90%を割り、86.9%となった。医療技術学部の受講者も増えアカデミックな内容を求める層が増えたことも考えられる。

Q. 6 高大連携授業に参加してよかったと思いますか

	2019年度		2020年度		2021年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	136	97.1%	86	98%	192	96.5%
③わりにそう思う	4	2.9%	2	2%	6	3.0%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	1	0.5%
無回答	0	0.7%	-	-	-	-
合計	140	100.0%	88	100%	199	100%

《分析》

① ほぼ100% 全員が参加してよかったという高い満足度であった。

Q. 7 本学に入学したい気持ちは高まりましたか

	2019 年度		2020 年度		2021 年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
④そう思う	131	93.6%	69	78.4%	157	78.9%
③わりにそう思う	9	6.4%	19	21.6%	41	20.6%
②あまりそう思わない	0	0.0%	0	0%	0	0%
①そう思わない	0	0.0%	0	0%	1	0.5%
無回答	0	0.0%	-	-	-	-
合 計	140	100.0%	88	100%	199	100%

《分析》

①高校生参加者は、全員が入学への動機が高まったと回答しており、この面での授業の意義は高い。しかし2019年度と比較すると「そう思う」と回答する受講生が93.6%から78.9%と減少した。YOUTUBEによる映像配信授業だったため、ライブによる授業の雰囲気を感じることに、教員との関りや仲間づくりの希薄化、大学の施設設備を利用した授業ができなかったため、入学に向けての強い気持ちが例年と比較すると減少したと考えられる。

Q. 8 参加をして良かったと思う授業について、上位三つまでを選び、記号で答えて下さい（※高校生のみ）

2019 年度

講座名	選択数	選択率 (114名全体の選択率)
⑤「高校生に看護職の魅力を伝える」	74	52.9%
⑧「ピア・カウンセリング入門」	52	37.1%
⑮「教師の専門性と指導技術」	42	30.0%
③「社会福祉の専門性とコミュニケーション」	33	23.6%
⑥「認知症高齢者の心をつかむコミュニケーション技法を学ぼう」	29	20.7%
⑦「健康な小児の成長発達」	28	20.0%

《分析》2019 年度

- ① 30%以上の参加者に選択をされた科目は、看護（2）、教育（1）。4位の社会福祉の授業も含め、上位の科目はアイスブレイクの導入やグループでの活動、また先輩が参加をするなどのアクティブ・ラーニングの要素が取り入れられている。
- ② 作業療法、社会福祉、心理系科目などが低くなってしまったが、自由記述を見ると、「動かない授業」「一方的に聞く授業」になっていることが大きな要因と考えられる。今後も演習やグループワーク、探究的な内容など、動きや創造的な活動のある内容が求められる。
- ③ 医療系はある程度の選択率を保っているが、上位授業に比較すると、希望学科/コース外の参加者から選択されるように、アクティブな活動や多様な教材の提示など、工夫が求められる。
- ④ 昨年度と同様、参加者のうち多くは医療系志望だが、受講をしてよかった科目と希望学科やコースに強い関連があるというより、授業そのものの満足感が選択の決め手になっている。
- ⑤ 昨年度と同様、出願率と重ねると、授業の良しあしが出願に影響を与えることはない結論づけられる。

2020 年度

講座名	選択数	選択率
⑤「感染の伝播を防ぐ知識や技術を学ぶ」	32	36%
⑦「こころの健康-ストレスと対処方法-」	29	33%
⑨「ひとの体と臨床における理学療法の役割①」	24	27%
⑥「在宅看護の役割を学ぼう！ 看護の工夫をしてみよう！」	22	25%
⑩「ひとの体と臨床における理学療法の役割②」	21	24%
⑮「先生の指導テクニックを学ぼう」	21	24%

《分析》2020 年度

※YOUTUBE 配信のためコメントなし。志願者に占める看護の割合が高いため当然といえる結果である

質問 高大連携講座を受講して、現在の学びに結びついていることや学生生活上で役に立っていることなどについて教えてください。

- ・高大連携講座で教えていただいた知識が、大学での授業中にでてくると、「これは高大連携講座でもでてきたな」と印象が強く残り、覚えやすいです。
- ・高大連携講座を受講することによって、どのような感じで普段の授業が進んでいくかを理解することができたこと。
- ・高大連携では看護や社会福祉、作業療法、理学療法など専門的なことを学んだため現在の授業に関係している部分もありよりわかりやすく理解できる。大学で受けるような内容の授業を受けることができ、今勉強しているところと繋がっているところもあること。
- ・受講し、医療について他の学生より一歩先に勉強し、学校のことも分かったので、授業には最初から戸惑うことなく入れました。
- ・高大連携講座は学部が関係ないため、様々な学部の人と交流できた。入学した後のチームケア入門で久しぶりに高大連携講座で知り合った他学部の学生とディスカッションできたため、話しやすく、分からないところは正直に聞いたため、より良いディスカッションになったと思う。
- ・チーム医療などを高校の時から少し感じることができた
- ・大学と同じような講義を事前に受けることで、入学前から大学生活をイメージしやすくなっていたと思います。
- ・高大連携講座で知り合った友人がいたので、人間関係に困ることなく大学生活をスタートできました。また、高大連携講座を受けることで単位が取得できたので、安心感を持って履修ができました。
- ・高大連携講座で基本的なことを教えていただいたので、授業以外の日常生活でも役立っていることもあります。
- ・他学部のことを学べてよかった。高大連携で学んだことを学校で習った時、あの時学習したことだ！と役立った。学習の内容を知ることができたこと。
- ・知っている学生や先生方がいて、過度な緊張をせずに入学を迎えられるし、相談もしやすいと感じます。
- ・他の学部知り合いができた。
- ・一社会人になるためのモラルやマナー、医療従事者になるための心構えが身についていると思う。

- ・高大連携講座を受講して、さまざまな専門分野の学習を深めることができました。大学入学前にも、その内容を復習し職種のイメージをつけることができたのでとても役立ちました。受講できて良かったと本当に思います。
- ・高大連携の授業でおこなったことが授業に出てくることがあるので役にたっています。
- ・高大連携の講座で学んだことは大学の授業で繋がっていて、看護のことで分かっていることがあると嬉しい。
- ・1年次の授業を理解しやすく置いていかれない。
- ・大学で実際学習する時に、この内容高大連携でやったな～と思えて、楽しい。
- ・様々な職種の特徴について学ぶことが出来たので、チームケアや多職種連携の大切さについて理解しやすかった。
- ・他職種連携の大切さを入学前から学んだことで、現在の講義でもその事を忘れずに講義を受けることが出来ていると感じる。
- ・高齢者が身近にいて接し方がわかるようになったこと。
- ・高大連携の時に単位を取っておいてよかったなと思った。当時仲良くなったこと今も仲良しで嬉しい。